



2025年11月 5 日

各 位

会 社 名 A Z－COM丸和ホールディングス株式会社
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 和 佐 見 勝
(コード番号：9090 東証プライム市場)
問合せ先 取締役専務執行役員経営管理グループ長
葛 野 正 直
(TEL 048-991-1000)

2026年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想と実績の差異に関するお知らせ

2025年5月12日に公表いたしました2026年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想と本日公表の実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせします。

記

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想と実績の差異（2025年4月1日～2025年9月30日）

	連 結 売 上 高 (百 万 円)	連 結 営 業 利 益 (百 万 円)	連 結 経 常 利 益 (百 万 円)	親会社株主に 帰 属 す る 中 間 純 利 益 (百 万 円)	1 株 当 たり 連 結 中 間 純 利 益 (円)
前回発表予想（A）	105,000	4,500	4,650	2,850	21.16
実 績 値 （ B ）	113,054	6,068	6,269	3,991	29.64
増 減 額 （ B－A ）	8,054	1,568	1,619	1,141	
増 減 率 （ % ）	7.7%	34.8%	34.8%	40.0%	
（参考）前期第2四半期（中間期）実績 （2025年3月期第2四半期（中間期））	101,440	4,326	4,609	2,845	21.11

（差異の理由）

物流業界においては、輸送力及び労働力の確保に向けた各種コストの高止まりが続くなど、依然として厳しい経営環境が続いています。当社グループはEC・常温物流、低温食品物流、医薬・医療物流の各ドメインを中心にした業容拡大に努め、新たな輸配送案件の獲得に加え、幹線輸送数が堅調に拡大したこと、既存物流センターにおける取扱物量が増加したこと、前期開設した物流センターが通期稼働したことが業績に寄与しました。以上のことから、当第2四半期の連結業績は当初の業績予想を上回ることとなりました。

一方で、今後、新規物流センターにおける業務安定化のための費用、既存物流センターの生産性向上を目的とした先行投資や統廃合に係る費用を見込んでおり、2025年5月12日に公表した通期業績予想を据え置きといたします。

※本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて算定したものであり、実際の業績はこれらの数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上